



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **09127431 A**(43) Date of publication of application: **16 . 05 . 97**

(51) Int. Cl.

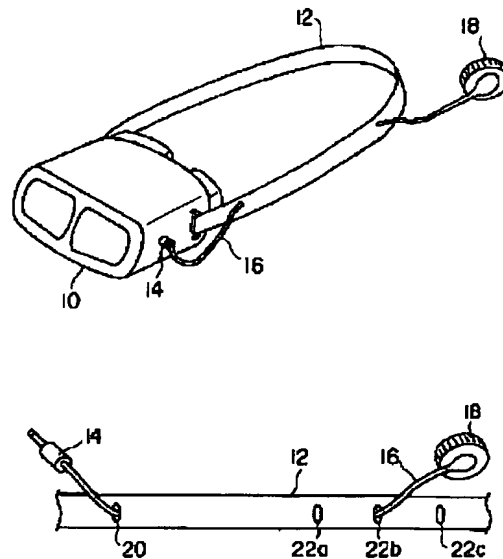
**G02B 23/18
H04B 1/08**(21) Application number: **07280404**(22) Date of filing: **27 . 10 . 95**(71) Applicant: **OLYMPUS OPTICAL CO LTD**(72) Inventor: **ASAI TETSUHISA
TORIGOE YUICHI**(54) **ELECTRONIC EQUIPMENT DEVICE**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve handling ability without entwining an earphone code around a strap, etc., by providing a means holding the earphone code prolonging outward a main body on the strap for carrying the body.

SOLUTION: For instance, in binoculars 10 with a radio receiver, the strap 12 for carrying the binoculars 10 is made a tube shape, and a part of the earphone code 16 connected to a jack terminal 14 is housed in the inside. A housing hole 20 and the housing holes 22a-22c at prescribed intervals are provided on the strap 12 making the inside hollow. The earphone code 16 passes through the inside hollow between the housing holes 20-22b, and the end part of the earphone code 16 provided with an earphone 18 is taken out from the housing hole. The strap 12 has a length for using while hanging it to a neck, and the part excepting both end parts of the earphone code is held integrally into the strap 12.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-127431

(43) 公開日 平成9年(1997)5月16日

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 2 B 23/18			G 0 2 B 23/18	
H 0 4 B 1/08			H 0 4 B 1/08	N

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-280404

(22) 出願日 平成7年(1995)10月27日

(71) 出願人 000000376

オリンパス光学工業株式会社
東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号

(72) 発明者 浅井 哲久

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリ
ンパス光学工業株式会社内

(72) 発明者 鳥越 優一

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリ
ンパス光学工業株式会社内

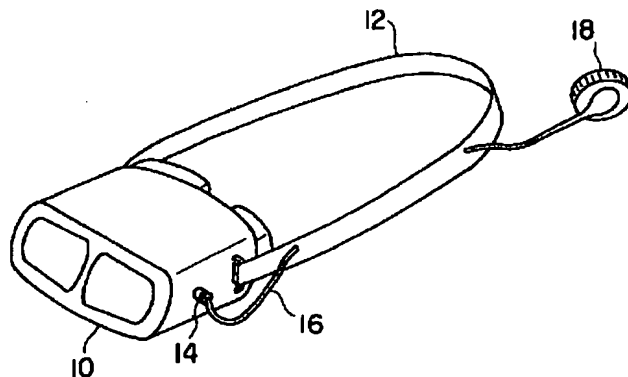
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54) 【発明の名称】 電子機器装置

(57) 【要約】

【課題】 イヤホンコードなどの紐状部材がストラップやその他の物に絡まったりせず、扱いやすい電子機器装置を提供する。

【解決手段】 電子機器本体10を携帯するためのストラップ12によって、上記電子機器本体より外方に延出された紐状部材16が上記ストラップ12に保持される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 本体と、
該本体を携帯するためのストラップと、
上記本体より外方に延出される紐状部材と、
上記ストラップに設けられ、上記紐状部材を保持する保持手段と、
を具備することを特徴とする電子機器装置。

【請求項 2】 上記本体は、音響機器であることを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器装置。

【請求項 3】 上記紐状部材は、イヤホンに接続されたものであることを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、電子機器本体を携帯するためのストラップが設けられた電子機器装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 双眼鏡などの光学機器には通常、双眼鏡本体を首につるして観察者の胸の前に支えて置き、地面や床などに落とすことがないようにするためや、持ち運びを便利にするための、いわゆるストラップという帯状の部材が設けられている。

【0003】 ところで近年、ラジオ受信機付き双眼鏡が出現している。このラジオ受信機付き双眼鏡では、上記ストラップと、ラジオ受信機にて再生した音を観察者へ伝達するための紐状のイヤホンコードの両方が双眼鏡本体の側面付近に接続され、これらはそれぞれ独立して観察者の首部や耳に導かれていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上述したようにストラップとイヤホンコードの両方がそれぞれ独立して観察者の首部や耳まで導かれるため、ストラップとイヤホンコードが絡まったり、イヤホンコードが他の物に引っかかりすることがあった。

【0005】 そこで本発明は、上記不具合を解決するためになされたものであり、イヤホンコードなどの紐状部材がストラップやその他の物に絡まったりせず、扱いやすい電子機器装置を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明の電子機器装置は、本体と、該本体を携帯するためのストラップと、上記本体より外方に延出される紐状部材と、上記ストラップに設けられ、上記紐状部材を保持する保持手段とを具備することを特徴とする。

【0007】 またさらに、本発明の電子機器装置は、上記本体が、音響機器であることを特徴とする。

【0008】 またさらに、本発明の電子機器装置は、上記紐状部材が、イヤホンに接続されたものであることを特徴とする。

【0009】 すなわち、本発明の電子機器装置においては、電子機器本体を携帯するためのストラップに設けられた保持手段によって、上記電子機器本体より外方に延出された紐状部材が上記ストラップに保持される。

【0010】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。

【0011】 図 1 は、本発明に係る第 1 の実施の形態のラジオ受信機付き双眼鏡の外観図である。

【0012】 ラジオ受信機が内蔵された双眼鏡 10 には、この双眼鏡 10 を携帯するためのストラップ 12 とラジオ受信機にて再生された音を取り出すためのジャック端子 14 が取り付けられている。

【0013】 上記ストラップ 12 はチューブ形状となっており、その内部に上記ジャック端子に接続されたイヤホンコード 16 の一部分を収納し、収納している部分の一方の孔からジャック端子 14 が接続されたイヤホンコード 16 を外部に出し、収納している部分の他方の孔からイヤホン 18 が接続されたイヤホンコード 16 を外部に出す。

【0014】 観察者は、このイヤホン 18 により双眼鏡 10 内のラジオ受信機が出力する音を聞くことができる。ストラップ 12 は、首にかけて使用するための長さを有しており、上述したようにイヤホンコード 16 の両端部以外をこのストラップ 12 に一体的に保持する。

【0015】 図 2 は、上記イヤホンコード 16 を保持するストラップ 12 の構造を示す図である。

【0016】 中が空洞となったチューブ形状のストラップ 12 には収納孔 20 が設けられ、さらに、この収納孔 20 と所定距離を隔てた位置に、所定間隔を隔てて 3 つの収納孔 22 a, 22 b, 22 c が設けられている。イヤホンコード 16 は、上記収納孔 20 と収納孔 22 b 間の内部の空洞を通され、収納孔 20 からはジャック端子 14 を有するイヤホンコード 16 の端部が外部に出され、さらに収納孔 22 b からはイヤホン 18 を有するイヤホンコード 16 の端部が外部に出されている。これにより、イヤホンコード 16 がストラップ 12 に保持されることになる。

【0017】 また、上記イヤホン 18 を有するイヤホンコード 16 の端部は、上記収納孔 22 b のみでなく、収納孔 22 a や収納孔 22 c からストラップ 12 の外部に出してもよい。これにより、観察者がストラップ 12 の長さを調整したときに、適切な位置からイヤホン 18 をストラップ 12 の外部に出すことができる。なお、収納孔は 3 つに限定されるものではなく、場合に応じて 1 つもしくは 2 つ、または 4 つ以上設けてもよい。

【0018】 次に、図 3 (a), (b) を用いて第 2 の実施の形態の電子機器装置におけるストラップについて説明する。図 3 (a), (b) は、第 2 の実施の形態の電子機器装置におけるストラップの構造を示す図であ

る。

【0019】図3(a)に示すように、ストラップ30にはマジックテープ32の一部が固定されている。そして、図3(b)に示すように、マジックテープ32を貼り合せ、その間にイヤホンコード16を挟むようにしてイヤホンコード16を保持する。

【0020】次に、図4を用いて第3の実施の形態の電子機器装置におけるストラップについて説明する。図4は、第3の実施の形態の電子機器装置におけるストラップの構造を示す図である。

【0021】このストラップ40には、イヤホンコード16を保持するための2つの保持部材42が所定間隔、離されて固定されている。そして、図4に示すように、この保持部材42はそれぞれイヤホンコード16の一部分を挟むことにより、イヤホンコード16を保持する。

【0022】なお、本第3の実施の形態では、2つの保持部材42によりイヤホンコード16の保持を行ったが、これは2つに限るわけではなく、場合に応じて一つまたは2つ以上の複数であってもよい。

【0023】次に、図5を用いて第4の実施の形態の電子機器装置におけるストラップについて説明する。図5は、第4の実施の形態の電子機器装置におけるストラップの構造を示す図である。

【0024】このストラップ50には、4つの保持孔52a, 52b, 52c, 52dが所定間隔、離されて設けられている。図5に示すように、イヤホンコード16はこの4つの保持孔52a, 52b, 52c, 52dを交互に違う面側から通されることにより、ストラップ50に保持される。

【0025】なお、本第4の実施の形態では、4つの保持孔52a, 52b, 52c, 52dによりイヤホンコード16の保持を行ったが、これは4つに限るわけではなく、場合に応じて一つまたは2つ以上の複数であってもよい。

【0026】次に、図6を用いて第5の実施の形態の携帯用オーディオ機器について説明する。図6は、第5の実施の形態の携帯用オーディオ機器の外観図である。

【0027】この携帯用オーディオ機器60にはストラップ62が取り付けられ、上記第1～第4の実施の形態のいずれかによって、このストラップ62にイヤホンコード16が保持される。そして、ストラップ62から露呈したイヤホン18及びイヤホンコード16は、使用しないときにはストラップ62に設けられたイヤホン収納部64に収納される。上記携帯用オーディオ機器60としては、ラジオ、ビデオカメラ、その他様々な電子機器装置などが考えられる。

【0028】以上説明したように上記実施の形態においては、イヤホンコードをストラップの内部に保持することにより、イヤホンコードがストラップに絡まった

り、外部に接触したりするのを防ぐことができる。

【0029】以上詳述した如き本発明の実施態様によれば、以下の如き構成を得ることができる。すなわち、

(1) 本体と、該本体を携帯するためのストラップと、上記本体より外方に延出される紐状部材と、上記ストラップに設けられ、上記紐状部材を保持する保持手段と、を具備することを特徴とする電子機器。

【0030】(2) 上記本体は、音響機器であることを特徴とする上記(1)に記載の電子機器。

10 【0031】(3) 上記紐状部材は、イヤホンであることを特徴とする上記(2)に記載の電子機器。

【0032】(4) 上記イヤホンは、上記本体に対して着脱自在に設けられることを特徴とする上記(3)に記載の電子機器。

【0033】(5) 上記ストラップは、上記本体から露呈するイヤホン側の部分を収納する部材を有することを特徴とする上記(4)に記載の電子機器。

20 【0034】(6) 上記本体は、光学機器に音響機器を付加した機器であることを特徴とする上記(1)に記載の電子機器。

【0035】(7) 上記光学機器は、望遠鏡であることを特徴とする上記(6)に記載の電子機器。

【0036】(8) 上記音響機器は、ラジオであることを特徴とする上記(2)または(6)のいずれかに記載の電子機器。

【0037】(9) 上記保持部材は、上記ストラップに穿設され、上記紐状部材が貫通される孔であることを特徴とする上記(1)に記載の電子機器。

30 【0038】(10) 上記保持部材は、上記ストラップに設けられ、上記紐状部材を挟持する把持部材であることを特徴とする上記(1)に記載の電子機器。

【0039】

【発明の効果】以上述べたように本発明によれば、イヤホンコードなどの紐状部材がストラップやその他の物に絡まったりせず、扱いやすい電子機器装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施の形態のラジオ受信機付き双眼鏡の外観図である。

40 【図2】第1の実施の形態におけるイヤホンコード16を保持するストラップ12の構造を示す図である。

【図3】第2の実施の形態の電子機器装置におけるストラップの構造を示す図である。

【図4】第3の実施の形態の電子機器装置におけるストラップの構造を示す図である。

【図5】第4の実施の形態の電子機器装置におけるストラップの構造を示す図である。

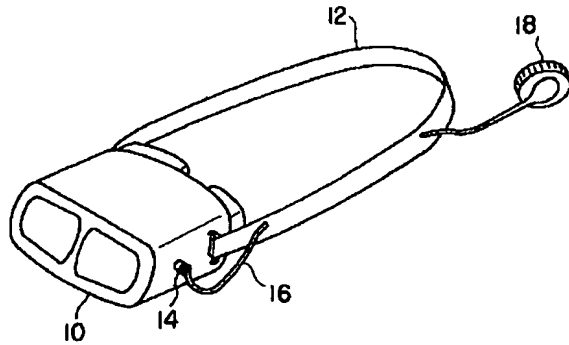
【図6】第5の実施の形態の携帯用オーディオ機器の外観図である。

【符号の説明】

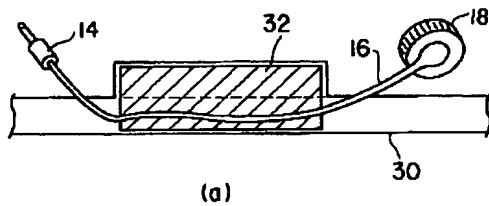
5

10…双眼鏡、12…ストラップ、14…ジャック端子、16…イヤホンコード、18…イヤホン、20、22a、22b、22c…収納孔、30…ストラップ、32…マジックテープ、40…ストラップ、42…*

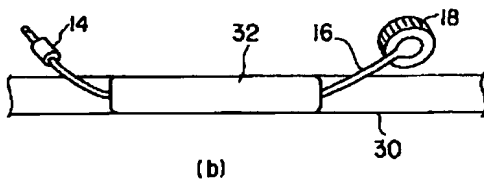
【図1】



【図3】

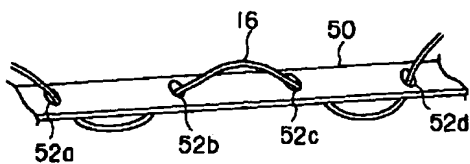


(a)



(b)

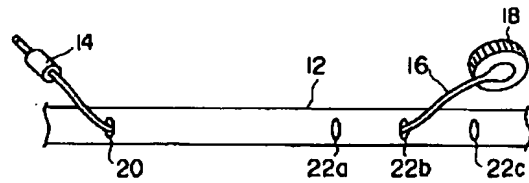
【図5】



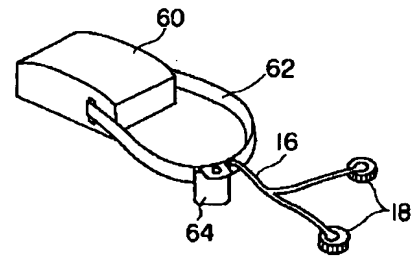
6

* 保持部材、50…ストラップ、52a、52b、52c、52d…保持孔、60…携帯用オーディオ機器、62…ストラップ、64…イヤホン収納部。

【図2】



【図6】



【図4】

